

令和2年度（2020年度）
金沢大学大学院法務研究科
入学試験問題
憲 法

D日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和2年度（2020年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	憲	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（20点）

次の事例を読み、Dの請求が認められるかどうかを論じなさい。

国会議員Aは、有権者からの情報提供により、地元のB建設が設計士Cと組んでデータの改ざんをして、耐震強度が不足しているマンションやアパートが売られているということを知り、国会の国土交通委員会においてB建設と設計士Cの実名を挙げ、耐震強度を確保するための制度に不備があるから法改正をすべきであるという主張をした。この委員会審議がテレビ中継された結果、B建設や設計士Cの元に抗議電話が殺到し、マスコミが押し掛けた。

設計士Cは会見を行い、自分は決してデータの改ざんはしていない、きちんとした耐震強度が確保できる設計をB建設に提案したと主張した。しかし、世間からの批判はやむことがなく、家族にも危害が及びかねない状況に耐えかねて、Cは1週間後に自殺した。

後で判明したところによると、実際にCは設計段階においてデータの改ざん等はしておらず、耐震強度が不足していたのはB建設の独断による手抜き工事のせいであった。設計士Cの妻Dは、国会議員Aが事実関係を確認することもなくCの実名を挙げたせいでCが死に追いやられたとして、国会議員Aに対して民法709条・710条に基づく損害賠償を、国に対して国家賠償法1条1項に基づく国家賠償を求め、提訴した。

問題2（5点）

政教分離とは何か、その意義と内容を簡潔に説明しなさい。